



『 予防（よぼう） 』を調べる。



- 1. キーワード：  
「インフルエンザ」「かんせん」「よぼう」「てあらい」「ワクチン」ほか
- 2. 本棚の案内：  
請求記号(本の背表紙にある番号)を見ましょう。例えば、健康管理は498、感染症は493.8、小児科学は493.9の棚にあります。
- 3. おすすめの本の紹介  
◎は資料区分/ 請求記号(本の背表紙にある番号です) / 著者等/ 出版社の順番で並んでいます。



①『保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき』5  
◎児童図書/ 498 ホ/ 斎藤久美監修/ 文研出版

病気やけがをふせぐために自分でできることは？  
うつる病気の知識と、それらの病気をふせぐ生活について解説。  
(保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき全5巻)



②『子どもがかかりやすい病気とけがの大事典』  
◎児童図書/ 493 コ/ 秋山千枝子監修/ くもん出版

ウイルスや細菌の病気、アレルギーの病気、目の病気、発熱、やけど、ねんざ、骨折…。子どもがかかりやすい病気やけがなどを78項目とりあげ、それぞれの概要・原因・治療法・予防法をイラストを交えて紹介。





③『<sup>かんせんしやう</sup>感染症<sup>ずかん</sup>キャラクター図鑑』

◎<sup>じやうとしよ</sup>児童図書/ 493カ/<sup>おかだはるえ</sup>岡田晴恵<sup>にほんとしよ</sup>監修/ 日本図書センター

<sup>かそく</sup>家族<sup>まも</sup>みんな<sup>かぞく</sup>でからだを守ろう！<sup>いんぷるえんざう</sup>インフルエンザウイルス、<sup>あたまじらみ</sup>アタマジラミ、<sup>ぱすときん</sup>パスト菌…。<sup>かんせんしやう</sup>感染症の<sup>げんいん</sup>原因となる<sup>びやうげんたい</sup>病原体をキャラクター化。<sup>びやうき</sup>病気にかからないための<sup>よぼうほう</sup>予防法や<sup>ちりやうほう</sup>治療法などを紹介。



④『<sup>こ</sup>子どもと<sup>おや</sup>親のための<sup>どくほん</sup>ワクチン読本』

◎<sup>いっぱんとしよ</sup>一般図書/ 493.9モ/<sup>もりひろこちよ</sup>母里啓子<sup>ふたばしや</sup>著/ 双葉社

ワクチンは<sup>あんぜん</sup>安全？ワクチンを<sup>う</sup>打たない<sup>ひと</sup>人は<sup>しゃかい</sup>社会の<sup>めいわく</sup>迷惑？<sup>こそだ</sup>子育て世代に向けて、<sup>じしん</sup>自信を持って<sup>ひつよう</sup>必要なワクチンを選ぶための<sup>ちしき</sup>知識を、Q&Aとマンガでわかやすく<sup>しょうかい</sup>紹介。<sup>かくしゆよぼうせつしゆ</sup>各種予防接種についても<sup>かいせつ</sup>解説。



⑤『<sup>みじか</sup>身近な<sup>かんせんしやう</sup>感染症<sup>かんせんしやう</sup>こわい感染症』

◎<sup>いっぱんとしよ</sup>一般図書/ 493.8ミ/<sup>たけだよしひみかんしゆう</sup>竹田美文<sup>にっとうしよいんほんしや</sup>監修/ 日東書院本社

<sup>かんせんしやう</sup>感染症は<sup>ひとり</sup>一人ひとりの<sup>こころ</sup>心がけで<sup>ふせ</sup>防げる！<sup>かんせんしやう</sup>感染症ごとに異なる<sup>かんせんけいろ</sup>感染経路に着目し、<sup>ちゃくもく</sup>感染症にかからないための<sup>よぼうほう</sup>予防法を紹介。また、「<sup>かぜ</sup>かぜ」から「<sup>えぼら</sup>エボラ出血熱」まで、<sup>しちゆい</sup>78種類の<sup>かんせんしやう</sup>感染症をとりあげ、<sup>しょうじやう</sup>症状や<sup>たいおほう</sup>対応法などを<sup>かいせつ</sup>解説。

<sup>ごしょうかい</sup>ご紹介した本以外にも、<sup>かんれん</sup>関連する<sup>としよ</sup>図書はまだまだたくさんあります！ぜひ<sup>じぶん</sup>自分でも探してみてくださいね♪

